

ナショナル・ユースチーム強化指定選手選考基準

デフリンピック・世界選手権大会に対するナショナルチーム、ユースチーム（旧バックアップ）（次世代アスリート育成対象）の構成とし、それぞれ下記内容の選考基準で選考し編成する。

1. ナショナルチーム

- (1) ナショナルチーム構成 男子4～5名、女子4～5名 合計8～10名
- (2) 国内大会の出場資格
 - ・一般財団法人全日本ろうあ連盟が主催する全国ろうあ者体育大会
 - ・一般社団法人日本デフバドミントン協会が主催する日本ろう者バドミントン選手権
 - ・一般社団法人日本デフバドミントン協会が主催する日本ろう者ランキングサーキット大会
 - ・その他の一般大会（都道府県バドミントン協会主催大会（社会人・総合大会等））
- (3) 国際大会の出場資格
 - ・国際大会において、世界ろう者バドミントンランキング10位以上の選手
- (4) JBADランキングより（JBADランキング規定）
 - ・シングルス：男女1位 ダブルス：男女1位、混合1位
- (5)（公財）日本バドミントン協会公認審判員の有資格者。（18歳以上から）
- (6) 一般財団法人全日本ろうあ連盟会員登録の住所、一般社団法人日本デフバドミントン協会会員登録の住所と照合し、それらが同一であること。
- (7) 強化部推薦選手・年齢制限なし
- (8) 基準対象期間内でも、理事会において見直す場合がある。

2. ユースチーム（次世代アスリート育成対象）

- (1) ユースチーム構成 男子4名、女子4名 合計8名
- (2) 国内大会の出場資格
 - ・一般社団法人日本デフバドミントン協会が主催する日本ろう者バドミントン選手権
 - ・一般社団法人日本デフバドミントン協会が主催する日本ろう者ランキングサーキット大会
 - ・その他の一般大会（都道府県バドミントン協会主催大会）
- (3)（公財）日本バドミントン協会公認審判員の有資格者。（18歳以上から）
- (4) 一般財団法人全日本ろうあ連盟会員登録の住所、一般社団法人日本デフバドミントン協会会員登録の住所と照合し、それらが同一であること。
- (5) 強化部推薦選手
 - ・12歳から18歳までの選手についてのランキングに該当していなくても、将来性を考慮し推薦できる。
- (6) 基準対象期間内でも、理事会において見直す場合がある。

【デフリンピック日本代表選手団の編成にかかる方針】

全日本ろうあ連盟スポーツ委員会 2012年11月10日策定

高水準の競技に適切な準備ができていて、メダルの可能性がある競技者のみをデフリンピック日本代表として派遣するために、各競技団体は次に示す推薦基準に基づいて選手の推薦を行う。スタッフについては基準を特に設けない。

各競技団体は推薦する選手・スタッフがデフリンピックの精神及び世界アンチ・ドーピング規定について十分に認識しこれに従って日本選手団団員として行動することを保証しなければならない。

- ① 聴覚障害を持つ日本選手団団員は全日本ろうあ連盟会員でなければならない。
- ② 日本選手団団員は少なくとも大会年度および大会の前年度において全日本ろうあ連盟会員でなければならない。
- ③ 前大会出場選手は、前大会次年度から今度の大会年度まで会員でなければならない。
 - 世界選手権大会でシングルス・ダブルスベスト4の選手
 - アジア太平洋ろう者競技大会でシングルス・ダブルスベスト2の選手
 - 上記選手を日本ろう者バドミントン協会の管理する毎年度ランキングで上回る選手

附 則：この規範は、2018年 4月28日から施行する。

本規範の一部を改正し、2019年 2月 4日より施行する。

本規範の一部を改正し、2019年11月 9日より施行する。